

完全な救い

シリーズ～コロサイの信徒への手紙～

2013/4/13

コロサイの信徒への手紙

1章21～23節

あなたがたは、以前は神から離れ、悪い行いによって心の中で神に敵対していました。

しかし今や、神は御子の肉の体において、その死によってあなたがたと和解し、御自身の前に聖なる者、きずのない者、とがめるところのない者としてくださいました。

ただ、揺るぐことなく信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません。この福音は、世界中至るところの人々に宣べ伝えられており、わたしパウロは、それに仕える者とされました。

神から離れ,敵対していた

- ◎ 日本人は信心深く,どんなものにも手を合わせる程神を畏れているようだが…
 - 「八百万の神々」「鰯の頭も信心から」
 - 「パワースポット」ブーム
- ◎ 何でも信じる＝何も信じない
 - 結局は自分を信じていることにならないか？
- ◎ もし本当に天地創造の唯一絶対の神がおられるとしたらどうだろう？
 - 実は神から離れ,敵対している

神御自身が備えられた和解

「しかし今や、神は御子の肉の体において、その死によってあなたがたと和解し」

- ◎人間には神との関係を修復できない
 - 方法も、能力も、資格もない
 - ←「山はどこから登っても頂上は同じ」×
- ◎神の側から、和解の道が敷かれた
 - 御子が「肉の体」をとり、「その死」(十字架)によって人間の払うべき負債を払われた
 - 歴史的事実に基づいている!

完全な救い

御自身の前に聖なる者、きずのない者、
とがめるところのない者として下さいました

◎単に和解するだけではなく、完全な者として下さった！

- 「**聖なる者**」:本来は神のみに使える表現
- 「**きずのない者**」:生まれたばかりの赤子
- 「**とがめるところのない者**」:清廉潔白

◎私たち自身は何も変わっていないようでも、**神の目**にはそのように見えている

信仰に踏みとどまる

ただ、揺るぐことなく信仰に踏みとどまり、あなたがたが聞いた福音の希望から離れてはなりません。

- ◎ 神が備えられた救いにあずかる方法は「信仰」しかない！
 - 「揺るぐこと」があるのも事実
- ◎ 「福音の希望」から離れない
 - 「この世の希望」が蔓延し、誘惑する

この「福音」を伝える者に

この福音は、世界中至るところの人々に
宣べ伝えられており、わたしパウロは、
それに仕える者とされました。

- ◎福音は世界中に伝えられてきたが…
 - 日本は「最後の未伝地」の一つ
- ◎伝えられていない人たちが大勢いる
 - 私たちのまわりにも
- ◎いつでも福音を提供できるように
 - 神から与えられる「完全な救い」を